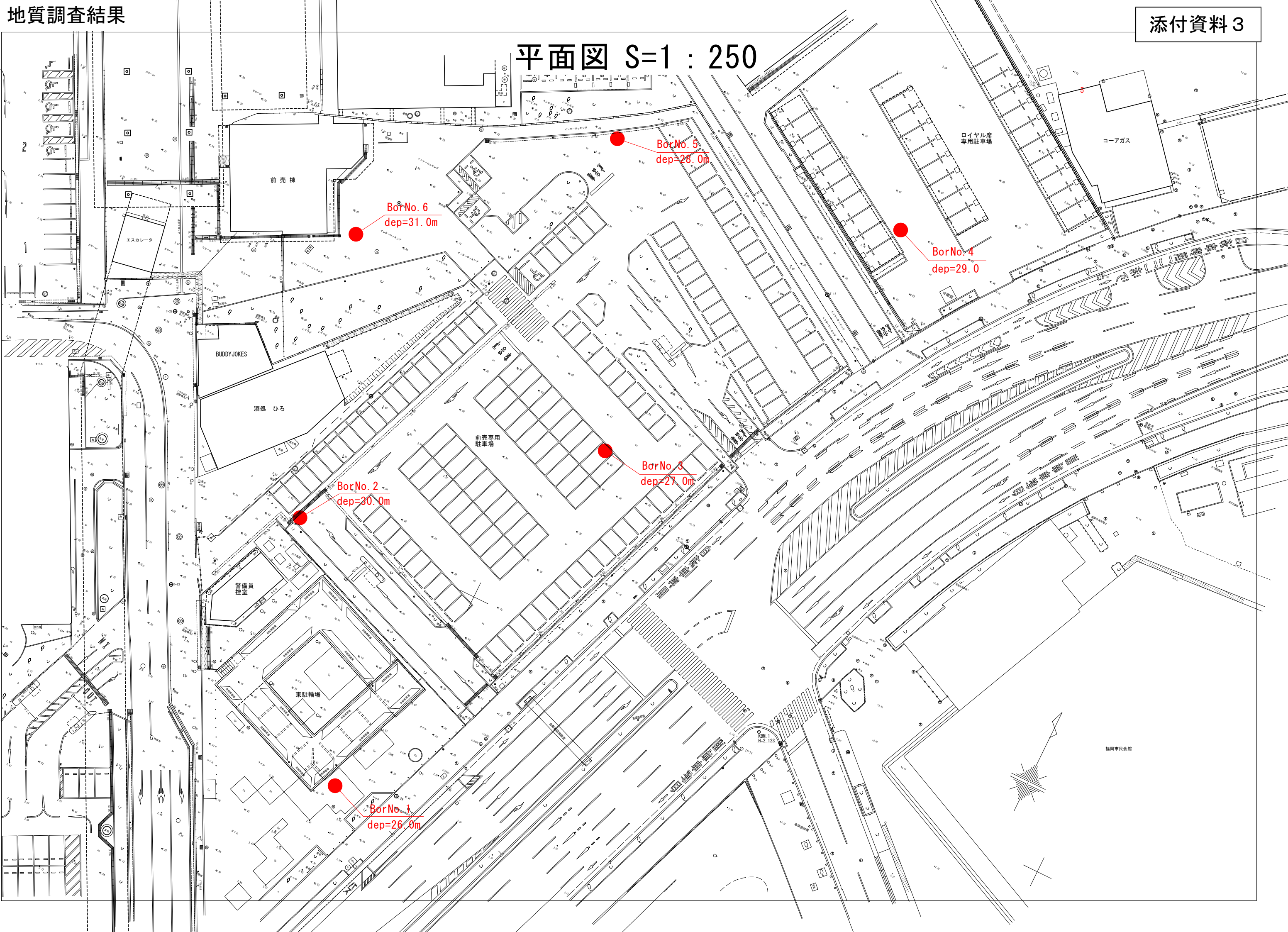


平面図 S=1 : 250

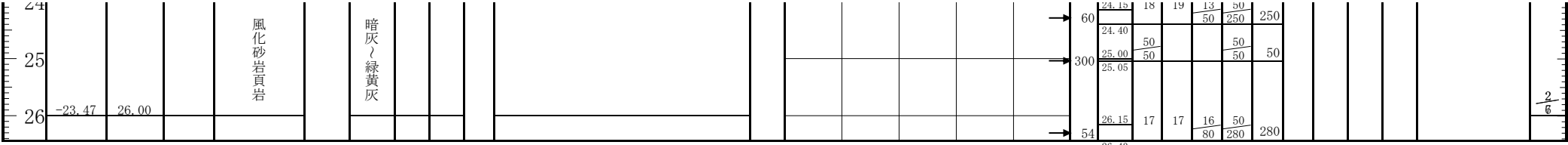


土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	ボートレース福岡地質調査業務委託		
事業名 または 工事名			
調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎			

ボーリング名	No. 1		調査位置	福岡県福岡市中央区那の津1丁目地内			北緯	33° 35′ 52.26″							
発注機関	福岡市経済観光文化局ボートレース事業部経営企画課				調査期間	2024年 2月 2日 ～ 2024年 2月 9日		東経	130° 23′ 51.42″						
調査業者名	株式会社ジオシステム 電話 092-414-5335		主任技師	大石 信 地質調査技士 登録番号: 第7007号		現場代理人	大石 航平 地質調査技士 登録番号: 第24725号		コピ定者	大石 航平 地質調査技士 登録番号: 第24725号		ボーリング責任者	松尾 博 地質調査技士 登録番号:		
孔口標高	H= 2.53m		角	180° 上下 0°		方位			地盤勾配			使用機種	試錐機 D0-C		
総削孔長	26.00m		度	0°		位置			エンジン	HSADTS904		ポンプ	BG-3C		

標尺	標高	深度	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相對密度	相對稠度	記述	孔内水位／測定月日	標準貫入試験										試料採取			室原位置試験	削孔月日				
											深度－N値図					N	深度	100mmごとの打撃回数			打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量			深度	試験番号	採取方法	
(m)	(m)	(m)							事		0	10	20	30	40	50	値	(m)	0 100	100 200	200 300				(m)	号	法	E=3.50E+02kN/m	
	2.13	0.40		表土		白灰～茶褐			表土部のコンクリートと碎石。（礫混じり土砂）																				
1				埋土		暗茶			GL-0.90mまでは埋土の不均質な礫混じり砂。 以深は砂混じり粘土で不均質である。	02/03 02/03								1.20	1	1	2								
2	0.93	1.60																1.55	200		150	350							
2				粘土		暗灰			軟弱な粘性土。比較的均質で粘性弱く含水高い。微量の微細～中砂を混入する。									2.15	160		210	370							
3																		2.52											
4	-1.47	4.00																3.15				0							
5				粘土混じり砂		暗灰			微量の細粒分を含んだ微細～中砂主体の緩い砂質土。含水は中～やや多い程度。局所的に細粒土優勢箇所を挟在する。									3.45	貫入			300							
6	-3.47	6.00																4.15	1	2	2	5							
6	-3.87	6.40		礫混じり粘土質砂		暗灰			φ2～10mm程の礫が多く混じる。									4.45				300							
7				砂質粘土		暗灰～淡青灰			粘性はやや弱い～やや強い程度。細～中砂を所々に含んでいる。上部は軟弱な土相である。 GL-7.40m～8.30m間の色調は緑灰色で粘性はやや強く、少し固結する。 シルト優勢箇所を有する。 含水中位程度。									5.15	1	2	2	5							
9	-6.47	9.00		粘土混じり砂		暗灰～暗茶			粘性土間に挟在する粘土混じりの砂。微細～中砂である。 含水中～やや低い。									5.48				330							
10	-6.77	9.30		砂質粘土		暗茶			有機質の粘性土。比重やや軽く軟い。含水は中程度。									6.15	5	3	3	11							
10	-7.47	10.00				暗灰～暗茶			やや不均質で微細～中砂の砂質土に細粒分を不規則に含む。 含水中位。									6.45				300							
11	-8.07	10.60		シルト質砂					花崗岩起源の砂質土。細～粗砂で中～粗砂を主体とし、細礫混じる。 含水やや低い。									7.15	0	1		1							
12				砂		淡灰			細砂主体で細粒分多く含む。粘土分の粘性は中程度。 下部に従い砂分の混入率高くなる。 上部は含水やや高い。									7.50	220	130		350							
13	-9.47	12.00		粘土質砂		淡青灰			細粒分を所々に挟む。砂分は微細～中砂が主体でやや緩い土相である。 粘土分を含み、含水は中程度。									8.15	2	2	3	7							
14	-10.27	12.80		シルト質砂		淡青灰			花崗岩起源の砂質土。局所的に細粒分の薄層が挟在する。 含水やや低い～中位。									8.45				300							
15				砂		淡灰												9.15	1	1		2							
16	-13.07	15.60		固結粘土		淡緑灰			半固結粘土状である。固結し硬い。									9.46	180	130		310							
16	-13.47	16.00		砂		淡白灰			挟みの砂層。全体に不均質な砂質土。細礫含み中～粗砂主体。									10.15	2	3	4	9							
17				強風化砂岩頁岩														10.45				300							
18						淡緑灰												11.15	8	9	10	27							
19																		11.45				300							
20	-17.47	20.00		風化砂岩頁岩		暗灰～緑黄灰			所々破碎状を呈し、脆い箇所を有する。 堅硬な部位は硬質であるものの、風化作用顕著な箇所は土砂～固結粘土化する。 GL-25.0m～26.0mは弱風化部で堅硬緻密である。【DH～CL級岩盤】									12.15	6	7	6	19							
21																		12.45				300							
22																		13.15	1	1	2	4							
23																		13.45				300							
24																		14.15	4	9	12	25							
25																		14.45				300							
26																		15.15	11	8	10	29							
27																		15.45				300							
28																		16.15	6	5	7	18							
29																		16.45				300							
30																		17.15	6	8	10	24							
31																		17.45				300							
32																		18.15	17	18	15	50							
33																		18.41				260							
34																		19.15	7	9	12	28							
35																		19.45				300							
36																		20.15	17	17	16	50							
37																		20.39				240							
38																		21.15	13	23	14	50							
39																		21.40				250							
40																		22.15	12	18	20	50							
41																		22.44				290							
42																		23.15	20	23	7	50							
43																		23.37				220							
44																		24.15	18	19	13	50							
45																		24.40				250							
46																		25.00	50			50							



土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

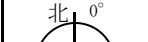
調査名

ボートレース福岡地質調査業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象

建築 構造物基礎

ボーリング 名	No. 2			調査位置	福岡県福岡市中央区那の津1丁目地内						北 緯	33° 35′ 53.40″				
発 注 機 関	福岡市経済観光文化局ボートレース事業部経営企画課					調査期間	2024年 2月 7日 ~ 2024年 2月 17日					東 経	130° 23′ 50.48″			
調 査 業 者 名	株式会社ジオシステム 電 話 092-414-5335			主任技師	大石 信 地質調査技士 登録番号: 第7007号		現 代 理 人	大石 航平 地質調査技士 登録番号: 第24725号		コ 鑑 定 者	大石 航平 地質調査技士 登録番号: 第24725号		ボーリング責任者	栗田 稔 地質調査技士 登録番号:		
孔 口 標 高	H= 2.63m		角 度			方 位			地盤勾配			使用機種	試 錐 機 D0-D			
総 削 孔 長	30.00m								エンジン	NFD10		ポン プ	BG-3C			

標尺	標高	深度	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験										試料採取			室内位置試験	削孔月日
											N値	深度	100mmごとの打撃回数			打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深度	試料番号	採取方法				
													0	100	200										
(m)	(m)	(m)									深度-N値図	(m)						(m)							
	2.53	0.10		表土		黒暗茶〜褐灰			表土のアスファルト。(礫質土)	02/09 02:40															
1	1.23	1.40		埋土		褐灰			埋土の礫混じり土砂。不均質である。レンガ片や牡蠣殻を混入する。			7	1.20	3	2	2	7		2.00	P2-1	○	粒度 含水 密度			
2				礫混じり砂		褐灰			比較的均質な海砂。細〜粗砂で、細礫混じる。全体に締まりがなくルーズ。			0	1.50 2.00				0		2.45						
3	0.03	2.60		砂質粘土		暗灰			含水やや多い軟弱な粘土に砂分を含む。			1	2.45				1		3.15	P2-2	○	粒度 一軸 圧密 物理			
4	-0.67	3.30		粘土		暗灰			均質で粘性は弱い。軟弱な土相である。上部は砂分を多く含む。含水はやや多い。			1	3.15 3.45	1			1		3.50 3.45	T2-1	Ⓣ				
5	-1.97	4.60		シルト質砂		暗灰			貝殻混じりの微〜細粒砂が主体。含水は中〜やや多い。高含水比で非常に軟らかい砂層。シルト〜細砂主体である。所々に粘土分混じる。シルト優勢箇所を有する。			5	4.15 4.45	1			1		4.30 4.30	P2-3	○	粒度 含水 密度			
6	-4.17	6.80		粘土質砂		暗灰			シルト〜微細砂を多く含みや軟弱である。粘土の粘性は弱い。			4	5.15 5.45	1	2	2	5		6.15	P2-4	○	粒度 含水 密度			
7	-4.87	7.50		粘土混じり砂		暗灰			砂は中〜粗粒砂で少量の粘土が混じる。			3	6.15 6.45	1	1	2	4		6.45						
8	-5.47	8.10		シルト質砂		暗灰			微細〜細砂主体でシルトを多く含む。細礫混じる。			10	7.15 7.45	1	1	1	3		7.15 7.45	P2-5	○	粒度 含水 密度	E=1.81E+03kN/m		
9	-6.37	9.00		シルト質粘土		暗灰			所々にシルト優勢箇所を有する粘性土。粘土分の粘性は弱い〜中程度。含水はやや多い。			3	8.15 8.45	5	3	2	10		8.15 8.45	P2-6	○	粒度 含水 密度			
10	-9.07	11.70		砂質粘土		暗灰〜淡褐灰			砂分は細砂主体で粘土の粘性は中程度。微量の細礫混じる。微量の腐植物片や貝殻片混じる。			3	9.15 9.45	1	1	1	3		9.15 9.45	P2-7	○	粒度			
11	-10.37	13.00		粘土混じり砂		淡青灰			不均質で所々に粘土分含む砂層。粘土と砂が混在する。			3	10.15 10.45	1	1	1	3		11.00 11.15	P2-8	Ⓢ	三軸 物理		2 8	
12	-11.37	14.00		礫混じり砂		淡暗灰			上部は半固結状の粘土。以深は比較的均質な砂層で少量の細粒分を含む。中〜粗砂が主体で細礫を含む。			5	11.15 11.45	1	2	2	5		11.45 11.80 12.15	P2-9	○	粒度			
13	-12.97	15.60		固結粘土		淡青灰			固結した粘性土。粘性はやや強く全体に固結し、硬い。			7	12.15 12.45	3	2	2	7		12.45	P2-10	○	粒度 含水 密度			
14	-14.17	16.80		粘土混じり砂		淡暗灰			半固結状の粘土分が不均質に混じる。砂は中〜粗砂主体である。			26	13.15 13.45	8	8	10	26		13.15 13.45	P2-11	○	粒度 含水 密度		2 9	
15	-14.77	17.40		強風化砂岩頁岩 礫岩		淡青灰			基盤岩の三紀層。強風化により全体にシルト〜粘土化する。全体に固結粘土状を呈し硬い。下部に従って固結度は高くなる。GL-23.3〜24.3m付近は礫岩優勢。【DL〜DM級岩盤】			25	14.15 14.45	8	9	8	25		14.15 14.45	P2-12	○	粒度 含水 密度			
16						淡緑						10	15.15 15.45	3	3	4	10		15.15 15.45	P2-13	○	粒度 含水 密度			
17	-14.17	16.80		粘土混じり砂		淡青灰						11	16.15 16.45	3	4	4	11		16.15 16.45	P2-14	○	粒度 含水 密度			
18	-14.77	17.40										9	17.15 17.45	3	3	3	9		17.15 17.45	P2-15	○	三軸CU 物理			
19												16	18.15 18.45	4	5	7	16		18.00 19.00	S2-1	○				
20												27	19.15 19.45	6	8	13	27								
21						淡緑〜黄褐						31	20.15 20.45	8	9	14	31								
22												25	21.15 21.45	7	10	8	25								
23												60	22.15 22.45	12	21	17	50								
24												36	23.15 23.40	11	11	14	36							2 10	
25	-22.37	25.00											24.15 24.45												

[illegible]

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調 査 名 ボートレース福岡地質調査業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

ボーリング 名	No. 3			調査位置	福岡県福岡市中央区那の津1丁目地内						北 緯	33° 35′ 54.40″			
発 注 機 関	福岡市経済観光文化局ボートレース事業部経営企画課					調査期間	2024年 1月 29日 ~ 2024年 2月 1日					東 経	130° 23′ 51.99″		
調 査 業 者 名	株式会社ジオシステム 電 話 092-414-5335			主任技師	大石 信 地質調査技士 登録番号: 第7007号		現 代 理 人	大石 航平 地質調査技士 登録番号: 第24725号		コ 鑑 定 者	大石 航平 地質調査技士 登録番号: 第24725号		ボーリング 責 任 者	古賀 修次 地質調査技士 登録番号:	
孔 口 標 高	H= 2.43m		角 度 180° 上下 0° 90°	方 位	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°		地盤 勾配	鉛直 90°	使用 機種	試 錐 機	YBM05				
総 削 孔 長	27.00m				エ ン ジ ン	NFAD8				ポ ン プ	BG-3C				

[illegible]

24	-22.57	25.00	風化砂質頁岩	暗緑灰						150	24.15			100	100					
25										60	25.15	14	20	16	50	250				
26			風化礫岩	黄褐		風化により褐色化し、全体にやや脆い風化礫岩部。コアは礫状～短片状コアで採取される。【DH級岩盤】				150	26.15	50			50	100	100			
27	-24.57	27.00								150	26.25									
										150	27.05	50			50	100	100			
										150	27.15				100	100				

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名

ボートレース福岡地質調査業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象

建築 構造物基礎

ボーリング名

No. 4

調査位置

福岡県福岡市中央区那の津1丁目地内

北緯

33° 35′ 56.11″

発注機関

福岡市経済観光文化局ボートレース事業部経営企画課

調査期間

2024年 2月 6日 ~ 2024年 2月 26日

東経

130° 23′ 52.99″

調査業者名

株式会社ジオシステム
電 話 092-414-5335

主任技師

大石 信
地質調査技士
登録番号: 第7007号

現代場人

大石 航平
地質調査技士
登録番号: 第24725号

コア鑑定者

大石 航平
地質調査技士
登録番号: 第24725号

ボーリング責任者

田中 茂喜
地質調査技士
登録番号:

孔口標高

H= 2.81m

角

180°
上下
90°

方位

北 0°
270°西 90°東 180°南

地盤勾配

鉛直 水平0°
90°

使用機種

試錐機

D1-B

エンジン

NFD10

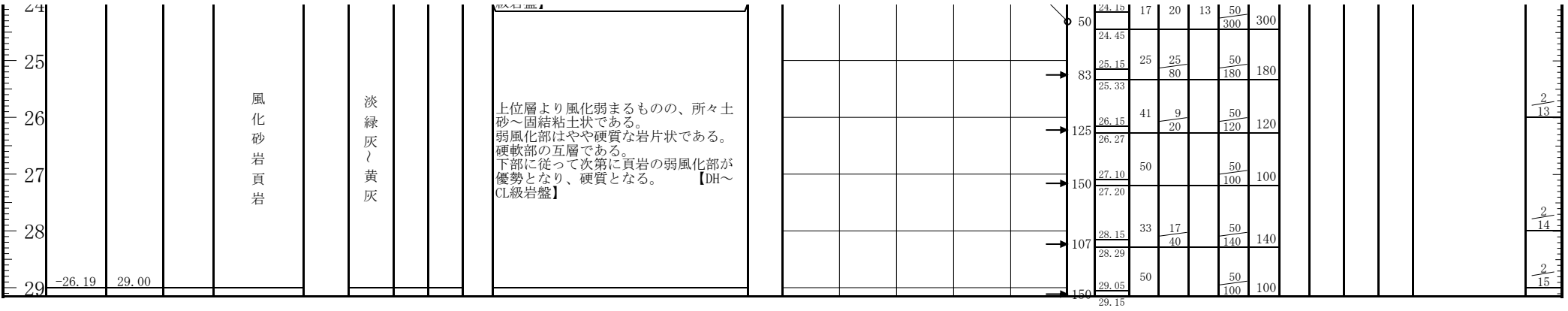
ポンプ

BG-3C

総削孔長

29.00m

標尺	標高	深度	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記 事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験										試料採取			室内位置試験	削孔月日			
											深度－N値図										自沈時の貫入量	深度	試験番号			採取方法		
(m)	(m)	(m)							事		0	10	20	30	40	50	N値	深 度 (m)	100mmごとの 打撃回数 0 100 200 100 200 300	打撃ごとの貫入量	50 回の貫入量	自沈時の貫入量 (m)	深 度 (m)	試 料 番 号	採 取 方 法			
	2.71	0.10		表土		黒灰			表土のアスファルト舗装。(礫質土)																			
1				埋土		黄灰			GL-0.20mまで碎石。 GL-0.20～1.20mはコンクリート片混入する不均質な礫混じり土砂。 以深は砂。	02/12 02/08 02/09 02/10 02/11 02/12							8	1.35 1.65 2.00	2 3 3	3 300								
2	0.91	1.90		砂混じり粘土		暗灰			細砂と貝殻片を混入。 粘土分の粘性は弱い。								1	2.45 3.15 3.45 4.00	350 0 自沈	1 450								
3	0.41	2.40		砂		暗灰			細砂主体の砂層。微細～細砂で含水多い。 貝殻片混じる。								0	3.15 3.45 4.00	0 自沈	0 300								
4	-0.19	3.00		シルト質粘土		暗緑灰			高含水で軟弱な粘土層。 均質な粘土で細砂を不規則に少量混入する。 貝殻片混じる。	02/14 02/03 02/04 02/05 02/06 02/07							0	3.45 4.00	0 自沈	0 450								
5	-1.79	4.60		シルト混じり砂		暗灰			シルト～細砂で含水多い。貝殻片混じる。								6	4.45 5.15 5.45	2 2 2	2 6 300								
6	-2.19	5.00		粘土混じり砂		暗灰			微細～細砂主体で中～粗砂分混じる。 微量の腐植物、細粒分を混入。 GL-5.40～5.75m付近には礫が点在。								4	6.15 6.45 7.00	2 1 1	1 4 300								
7	-3.69	6.50		シルト質粘土		暗灰			シルト質粘土に細砂が不規則に混じる。 微量の腐植物と貝殻片を含む。 軟弱な粘性土。								0	7.45 8.15 8.45	0 自沈	0 450								
8	-5.09	7.90		シルト混じり砂		淡青灰			細～粗砂主体で不均質、細粒分混じる。高含水。								4	8.15 8.45	2 1 1	4 300								
9	-5.89	8.70		粘土混じり砂		暗緑～黄灰			微細～細砂に粘土分が混じる。粘性は中程度。								5	9.15 9.45	2 1 2	5 300								
10	-6.19	9.00				暗灰											3	10.15 10.45	1 1 1	3 300								
11				砂質粘土		暗灰			全体に粘性中～強の粘性土。 貝殻片を多く含む。 上部はシルト質粘土である。 下部は少量の細～粗砂の砂と貝殻片混じる。								3	10.45 11.15	1 1 1	3 300								
12	-9.49	12.30				暗灰											7	12.15 12.45	3 2 2	7 300								
13				礫混じり砂		暗灰			細～粗砂のやや不均質な砂層。 上部は細粒分が混じる。細～粗砂にφ2～15mm程の礫を混入。含水やや多い。								9	13.15 13.45	4 3 2	9 300								
14						暗灰											25	14.15 14.45	9 8 8	25 300								
15						暗灰											20	15.15 15.45	7 7 6	20 300								
16						暗灰											16	16.15 16.45	6 5 5	16 300								
17						暗灰											9	17.15 17.45	3 4 2	9 300								
18	-15.19	18.00		シルト混じり砂		淡青灰			シルト～粗砂で細砂分を多く含む。高含水である。やや二次真砂状の砂層。								7	18.15 18.45	2 2 3	7 300								
19	-15.89	18.70		固結粘土		淡青灰			固結粘土。粘性強い。								21	19.15 19.45	6 7 8	21 300								
20	-17.09	19.90		シルト混じり砂		淡青灰			シルト～粗砂で高含水。全体に細粒分を多く含む。φ2～40mm程の礫を少量混入する。下部は粘土分の混入が目立つ。								5	20.15 20.45	2 1 2	5 300								
21						淡青灰											8	21.15 21.45	3 2 3	8 300								
22	-19.49	22.30				淡青灰											18	22.15 22.45	5 6 7	18 300								
23				強風化砂岩頁岩		淡青灰～黄褐灰			全体に風化作用により変質し、固結粘土化する。 岩組織は辛うじて確認できる。 コアはおおむね固結粘土状の棒状コアで採取される。 強指圧で若干指が入るくらい。 【DM級岩盤】								40	23.15 23.45	11 14 15	40 300								
24	-21.19	24.00		風化砂岩頁岩		淡緑灰～黄灰											50	24.15 24.45	17 20 13	50 300								
25																		25	25	25	50							

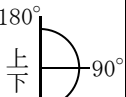
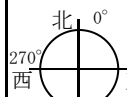


土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調 査 名 ボートレース福岡地質調査業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

ボーリング 名	No. 5			調査位置	福岡県福岡市中央区那の津1丁目地内						北 緯	33° 35′ 55.92″			
発 注 機 関	福岡市経済観光文化局ボートレース事業部経営企画課					調査期間	2024年 2月 15日 ~ 2024年 2月 26日					東 経	130° 23′ 51.22″		
調 査 業 者 名	株式会社ジオシステム 電 話 092-414-5335			主任技師	大石 信 地質調査技士 登録番号: 第7007号		現 代 理 人	大石 航平 地質調査技士 登録番号: 第24725号		コ 鑑 定 者	大石 航平 地質調査技士 登録番号: 第24725号		ボーリング 責 任 者	古賀 修次 地質調査技士 登録番号:	
孔 口 標 高	H= 2.83m		角 度		方 位		地盤勾配 鉛直 90°	使用機種	試 錐 機	YBM05					
総 削 孔 長	28.00m								エ ン ジ ン	NFAD8		ポ ン プ	BG-3C		

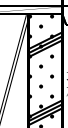
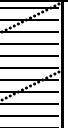
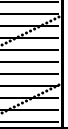
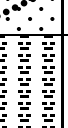
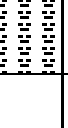
[illegible]

[illegible]

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	ボートレース福岡地質調査業務委託		
事業名 または 工事名			
調査目的及び調査対象	建築 構造物基礎		

ボーリング名	No. 6			調査位置	福岡県福岡市中央区那の津1丁目地内						北緯	33° 35′ 54.85″			
発注機関	福岡市経済観光文化局ボートレース事業部経営企画課					調査期間	2024年 2月 7日 ~ 2024年 2月 14日					東経	130° 23′ 50.02″		
調査業者名	株式会社ジオシステム 電話 092-414-5335			主任技師	大石 信 地質調査技士 登録番号: 第7007号		現代理人	大石 航平 地質調査技士 登録番号: 第24725号		コア鑑定者	大石 航平 地質調査技士 登録番号: 第24725号		ボーリング責任者	古賀 修次 地質調査技士 登録番号:	
孔口標高	H=2.45m		角 度 180° 上下 90° 0°	方位	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90°	使用機種	試錐機	YBM05			ポンプ	GP-5	
総削孔長	31.00m								エンジン	NFAD8					

標尺	標高	深度	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記述	孔内水位／測定月日	標準貫入試験							試料採取			室原位置試験	削孔月日						
											深度－N値図							深度	試験番号	採取方法								
(m)	(m)	(m)							事		0	10	20	30	40	50	N値	度(m)	100mmごとの打撃回数 0 100 200 100 200 300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深度(m)	試験番号	採取方法			
1	2.35	0.10		表土		暗茶 赤茶／暗褐灰			表土部のインターロッキングブロック。(礫質土) GL-0.10～0.80mはレンガ片や礫が混入する礫混じり土砂。 GL-0.80m～1.40mは比較的均質な砂。 以深は砂と粘土が混在する粘土質砂。	02/06 (02/07) 14:00																		
2	0.65	1.80		粘土混じり砂		暗灰			上部と下部は細粒分が主体である。 中～粗砂の細粒分が混じる砂質土。細礫をやや多く混入する。								5	2.15	1	2	2	5	300	2.15	P2-1	○	粒度 含水密度	
3	-0.85	3.30		砂		暗灰			高含水で軟弱な粘性土。 粘土分の粘性は弱い。 比較的均質な粘土で微量のシルト分を含む。 貝殻片混じる。 上部には砂分多い。下部は次第に細砂の混入が増える。								1	3.15	1			1	300	3.15	P2-2	○	粒度	
4				砂		暗灰			高含水で軟弱な粘性土。 粘土分の粘性は弱い。 比較的均質な粘土で微量のシルト分を含む。 貝殻片混じる。 上部には砂分多い。下部は次第に細砂の混入が増える。								1	4.15	1			1	300	4.50	T6-1	①	一軸圧密物理	
5	-3.05	5.50		シルト質砂		暗黒灰			含水多く、砂分は細～中砂主体。 粘土分は粘性弱く軟い。 細粒土と微細砂～細砂が混在し軟弱な土相である。 少量の貝殻片と細礫混じる。								0	5.15	0.5			0	300	5.30				
6				粘土混じり砂		暗灰～黄褐			少量の細砂が混じる。 細～粗砂の砂質土。 高含水で細粒分が混じる。								2	6.15	1	1		2	300	6.15	P2-3	○	粒度 含水密度	
7	-5.05	7.50		粘土質砂		暗灰			シルト～中砂主体で構成され、細粒土と砂の互層。 粘土の粘性はやや弱い～中程度。								1	7.15	1			1	300	7.15	P2-4	○	粒度 含水密度	
8	-5.55	8.00		砂		暗灰			粘性中～強の粘土に細～中砂を混入する。全体にやや固結する粘性土。含水はやや多い。								2	8.15	1	1		2	300	8.15	P2-5	○	粒度 含水密度	
9	-6.85	9.30		砂		暗灰			細粒分混じりの砂質土。 砂分は細～粗砂である。 φ10mm程の礫を混入。								3	9.15	1	1	1	3	300	9.15	P2-6	○	粒度	
10				砂		暗灰			花崗岩起源の砂質土。砂分は細～粗砂で粗砂分が多い。φ2～3mm程の細礫が多く混じる。含水は中～やや多い。								2	10.15	1	1		2	300	10.00	T6-2	①	一軸圧密物理	
11	-9.25	11.70		砂		暗灰			全体に均質な固結した硬い粘土、シルト。基盤岩部の上位層の固結粘土とみられる。								4	11.15	1	1	2	4	300	11.15	P2-7	○	粒度	
12	-10.55	13.00		砂		暗灰			逢着部はやや不明瞭である。全体に風化著しく粘土化する。全体に固結粘土状である。頁岩優勢で岩組織は辛うじて確認できる。部分的に礫岩部も介在する。【DL～DM級岩盤】								10	12.15	2	2	6	10	300	12.15	P2-8	○	粒度 含水密度	
13				砂		暗灰											29	13.15	8	11	10	29	300	13.15	P2-9	○	粒度 含水密度	
14	-13.05	15.50		砂		淡青灰											35	14.15	11	12	12	35	300	14.15	P2-10	○	粒度 含水密度	
15				砂		淡青灰											22	15.15	7	8	7	22	300	15.15	P2-11	○	粒度 含水密度	
16	-15.25	17.70		砂		淡青灰											16	16.15	5	5	6	16	300	16.15	P2-12	○	粒度 含水密度	
17				砂		淡青灰											19	17.15	5	7	7	19	300	17.15	P2-13	○	粒度 含水密度	
18				砂		淡青灰											16	18.15	4	5	7	16	300	18.15	P2-14	○	粒度 含水密度	
19				砂		淡青灰											14	19.15	4	5	5	14	300	19.15	P2-15	○	粒度 含水密度	
20				砂		淡青灰											16	20.15	5	5	6	16	300	20.15	P2-16	○	粒度 含水密度	
21				砂		淡青灰											30	21.15	7	10	13	30	300	21.15	P2-17	○	粒度 含水密度	
22				砂		淡青灰											27	22.15	7	9	11	27	300	22.15	P2-18	○	粒度 含水密度	
23				砂		淡青灰											33	23.15	8	11	14	33	300	23.15	P2-19	○	粒度 含水密度	
24				砂		淡青灰											30	24.15	8	9	13	30	300	24.15	P2-20	○	粒度 含水密度	

